

24

「性は生なり」？

夫婦部屋でまたもいつものがらの騒動。夫婦がここに来て六年目の年の暮れ。「さあ殺せ、殺しきらんならオレが死んでやる」と妻はナイフをノドに当てわめく。夫は興奮して震えるだけ。今度はいつもと違い深刻です。二人の言い分。

妻——昨日、ほかん女が、このじじのひざに手を当てていた！

夫——しかしお前や、わしがちょっと抱こうとすると、いやらしいと怒るじやねえか！

けんかはいっそう激化します。

ホーム内での夫婦暮らしで、妻は人目を気にし、私たちが二人のベッドをくつつけると、いろいふもねえ（色狂いのようでいやらしい）と引き離す。内部が見えないようガラスに紙を張ってあげると「すかん、わりいことしているようで」と、はぎ取ります。

性に関することは、すべてこの通りで、妻は夫を寄せつけない。だから、夫は自室にこもって自慰にふける一方。しかし、堪忍袋もそこまで。無口温和の彼がついに怒りを爆発させ、妻の髪をわしづかみ、引き倒し「出て行けっ！」。突然の変容、錯乱。ついに食欲を失い急速に衰弱。妻は娘の家に一時退避。

寮母たちのスキンシップ、下半身の清拭せいしきに寂しげな笑顔で応えますが、妻を

追い出してから十日目に容態急変。呼び戻された妻を見ても、「あっちへいけ！」と手を振り、顔を背けるだけです。

方法は一つしかない。下半身の清拭を恥ずかしがる妻にしてみもらいます。「おじいさん、悪かった」とわびながらふき続けると、やっと夫の目じりに涙。しかし、二時間後には妻に手を預けたままの昇天です。危うく憤死の思いで終わるところでした。

この場合「性は生」という言葉は本当だとも思われます。しかし、性は個人差がはなはだしく、特に男女差は著しい。だから、性は生という言葉がコッケイな時もあるのです。

例えば、昭和五十七年、任運莊の高齢者性欲求調査で、男性は十二人中八人が「あり」と認め、二人は応答できないが、身体的反応は「あり」です。女性三十八人中三人だけが肯定。三十人は「なし」と否定（理由は各人各様）、残る五人は植物的状態。

たとえば、性欲求が根源的のように見えても、諸欲求の一つです。人間は

欲求の束ともいわれ、生きるといふことは何かの欲求を選んで満たそうとする行為です。選ぶとは自由であるから出来るのです。自由だから満足、不満、後悔、発奮、消沈など心の起伏が絶えないわけです。

優れた心理学者、マズローは人間の欲求を五段階に分け、動物的な第一段階から次の高次段階へと人格的に発展することを説明しています。

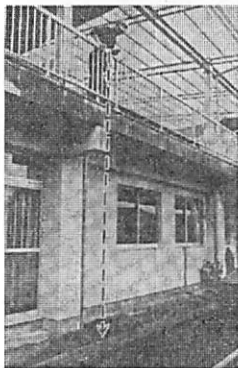
第一段階〔生理的欲求〕これは生得的で生存するために必要な基本的なもので、他のすべての欲求よりも優勢である。食欲を中心として睡眠欲・運動欲・性欲等がそれで、動物にもあるから動物的欲求とも呼ばれる。この欲求を基礎にして他のより高次の欲求が出現する。

第二段階〔安全欲求〕わが身や家族に危険がないよう、安全で健康的であり、心も平安であるようにという欲求は、人間にとって生理的欲求に次いで現われる。私たちは平和に生きているから、この欲求に気づかない場合もあろうが、かりに安全より重要なことではないという状態が慢性化しているならば、人間は安全を求めているみ生きている存在になるにちがいない。

新 聞 (夕刊)

昭和60年(1985年)10月4日 金曜日

老人ホームで心中図る 大分市



佐藤さんが飛び降りた現場(点線・大分市竹中の老人ホーム前静画で)

88歳、飛び降り自殺

仲の良い老女を切り

四日(金) 大分市の特別養護老人ホーム大分府の森を介抱していた老女が、飛び降りた。老女は約

四日午前五時四十分ごろ、女死した。Aさんは約

三週間ほど、大分府の森で、佐藤

さん(五十三歳)と同居していた。Aさんは

三週間ほど、大分府の森で、佐藤

さん(五十三歳)と同居していた。Aさんは

三週間ほど、大分府の森で、佐藤

さん(五十三歳)と同居していた。Aさんは

三週間ほど、大分府の森で、佐藤

さん(五十三歳)と同居していた。Aさんは

三週間ほど、大分府の森で、佐藤

さん(五十三歳)と同居していた。Aさんは

三週間ほど、大分府の森で、佐藤

さん(五十三歳)と同居していた。Aさんは

三週間ほど、大分府の森で、佐藤

さん(五十三歳)と同居していた。Aさんは

三週間ほど、大分府の森で、佐藤

さん(五十三歳)と同居していた。Aさんは

三週間ほど、大分府の森で、佐藤

さん(五十三歳)と同居していた。Aさんは

自殺したとみられる。

佐藤さんは五十四年七月、

三井物産の竹中、明原小学校、

佐藤さんは五十四年七月、

三井物産の竹中、明原小学校、

佐藤さんは五十四年七月、

三井物産の竹中、明原小学校、

佐藤さんは五十四年七月、

三井物産の竹中、明原小学校、

佐藤さんは五十四年七月、

三井物産の竹中、明原小学校、

佐藤さんは五十四年七月、

三井物産の竹中、明原小学校、

佐藤さんは五十四年七月、

三井物産の竹中、明原小学校、

佐藤さんは五十四年七月、

三井物産の竹中、明原小学校、

佐藤さんは五十四年七月、

三井物産の竹中、明原小学校、

60.10.5

どの理由から、入所者も精神的に安定、自殺も少ない。

特に変わった様子もなく、三

に驚きそうに話し込んでいた。

うと先月十九日に國で亡妻の

りきりしたとみえだのふりて

実直で、八十八歳という高

人。周囲は「信じられない」と

けに、生きる氣力を失った

しれない。

なり満足され

向
ち
た
関
系、

標達成のため

やまざれと

二

二

60

自役に、当のホームはとよ 状態へ
り、施設を監督する立場にあ ている
る限も「処遇面での不備は考 老人
えられない」と老人一人ひと よると
りの孤独の深さと複雑な心理 十九年

対応

耐えられずに自殺に走ってしまっ
たケースが多い。
老人ホームの場合、集団生活で孤独感が薄れる。悩みを打ちあける話し相手もいるな

裏道で、八十八歳という高齢ながらしっかりといた老人。周囲は信じられないというが、しっかりといただけに、生きる氣力を失った時の、落途は大きかったのかもしれない。

対応に戸惑う関係者

第三段階〔所屬と愛の欲求〕 生理的欲求と安全の欲求がかなり満足される

と、愛情・所属の欲求が起こってくる。「人は他者との愛情に満ちた関係、自分の所属しているグループ内での地位を切望している。この目標達成のために一生けんめい努力する。人間社会において、これらの欲求がじゃまされると不適応の原因となる」。愛の欲求には当然与える愛と受ける愛とがあるが、子供だけでなく、老年にもまた愛されたい想いは強く生き続けている。

第四段階〔承認の欲求〕「すべての人々は自己に対する高い評価や自己尊敬、自尊心、そして他者から尊重されることに對する欲求をもっている。これらの欲求を二分すると、第一は強さ、業績、妥当性、熟練、資格、世の中に対して示す自信、独立と自立に對する欲望である。第二は他者から受ける尊敬、いわゆる評判、名声、地位、他者からの理解に對する欲望である」。この欲求が満たされないと、劣等感や弱さ無能さという感情を生み出す。しかし、内容は高次なものであるから、何らかの努力が伴わねばならない。

第五段階〔自己実現の欲求〕この段階に至ると多くの人格的、社会的欲求がひとさまさまに表現される。単なる愛は隣人愛・人類愛と高揚するであろう。未知なるものへの憧憬と探究、また、進んで責任と業務を果たしたい、身命を惜しまない献身等の真善美に生きんとする欲求が生まれる。

マズローはいう。「欲求がすべて満たされたとしても、ひとが自分に適していると考えられることをしていないかぎり、新しい不満や不安がすぐ起こってくるであろう。人間は自分のなりうるものにならないければならない」。倫理、

宗教、芸術活動などがそれで、あるべき自分を実現しようとするいわば人生の追求の旅です。性欲は当然第四、五の欲求の下で制御されます。

さて、老いてはもはや、性愛については若き日よりずっと自由です。人生経験は深く、身体的諸能力は衰えているから。だから、はたから干渉すべきでなく、はた目を気にする必要もない。ひとは生きてきた通りにしか、老いての性愛も生きることはいないので。

「性は生なり」と無反省に考えて起きた某特養ホームの悲劇は教訓的です。（大分合同新聞昭和六十年十月四日付）。老人が愛人関係の老女を傷つけ自殺を遂げた事件です。親しくなった二人を園側が一緒にしたが、一方が病気になったので、今度は愚かしくも園が一方的に一、二階に分離。それから三カ月後に起こった無理心中です。このように性愛を安易に管理するという無謀さはまことに罪深い。このことは何も老人ホーム内に限らず、家庭生活においても言えることです。